

開発教育指導者研修(実践編) 第1回

■ 開催概要

- ◆ 日 時 : 平成 25 年 6 月 15 日 (土) 13:00~17:00、16 (日) 10:00~15:00
- ◆ 場 所 : なごや地球ひろば2階 セミナールーム A
- ◆ 参加者数 : [1 日目] 受講者 39 名、JICA 9 名、NIED 5 名、合計 53 名
: [2 日目] 受講者 38 名、JICA 7 名、NIED 5 名、合計 50 名
- ◆ ファシリテーター : (特活) N I E D ・ 国際理解教育センター 伊沢令子

■ 第1回のねらい

- ★ 開発教育・国際理解教育の目的、内容、方法を体験的に理解する。
 - ① 研修の全体像を理解し、各自の参加の目的をふりかえり、共に学び合う仲間同士知り合う。
 - ② グローバル化した世界の現状と、開発教育・国際理解教育の必要性を確認・共有する。
 - ③ 開発教育・国際理解教育が、価値観を育てる教育であること、行動変容を支える教育であること、そのための参加型の教育であることについての理解を深める。

■ プログラムの内容

● セッション1 「わたし・あなた・みんな①」 6/15 13:04-15:09

1. 主催者あいさつ/スタッフ紹介など 13:04-[20]

- ◇ 鈴木所長あいさつ…JICA、JICA中部、なごや地球ひろば、東日本大震災における海外からの支援と国際協力との関係、開発教育指導者研修・教師海外研修の概要など。
- ◇ JICA中部スタッフ、NIEDスタッフが自己紹介する。空調、飲食、宿泊についての案内を行う。

2. 研修の目的と全体像、第1回のねらいの説明 13:24-[21]

- ◇ JICA職員が2つの研修の位置づけ、内容、スケジュールなどについて説明する。
- ◇ 写真撮影・使用の許諾、名簿の配付の許諾を得る。
- ◇ 1~9の番号を振り、5人の9つのグループになるように席替えを行う。
- ◇ レジューをもとに、研修各回の概要、第1回のねらいとプログラムについてファシリテーターが説明する。

3. アイスブレイキング1 「名刺で自己紹介」 13:45-[23]

- ◇ 各自A4用紙で自己紹介シート (①お似合いの漢字一文字 ②今一番はまっていること ③自分の人生で大切にしていること ④研修参加の理由・期待) を作成する (5分間)。
- ◇ 自己紹介シートの内容とその理由を、呼ばれたい名前の五十音順にグループで紹介し合う (1人1分30秒)。

4. アイスブレイキング2 「4つのわたし1つはウソ」 14:08-[22]

- ◇ 知ってほしい自分に関する情報を4つ、A4用紙の田の字に折り目をつけたそれぞれのマスに各自書く。そのうち1つはウソを書く。見本としてファシリテーターが書いた4つのわたしを紹介し、全員でウソを当てる。
- ◇ グループで1人ずつ4つのわたしを紹介し、その後他のメンバーがハンドサインでウソの項目を指し、最後に答えを明らかにする。
- ◇ ファシリテーターが2つのアイスブレイキングをふりかえり、その目的や効果について説明したうえで、「自己理解(個性) - 他者理解(関係性) - 国際理解(社会性)」と国際理解教育の特徴について解説する。



5. 教室の中の世界探検 14:30-[13] →成果1参照（つながりのあるものリスト）

- ◇ この研修会場にあるもので世界とつながっていると思うものをグループで出来るだけ多く出し、A4用紙にリストアップする（3分間）。
- ◇ 出すことができた数を全体で聞く（結果：9～29個）。最大見つかったグループが全体で発表する。その後他のグループが追加する意見を発表する。
- ◇ 複数グループの参加型で学び合うことの意義をファシリテーターが解説する。

6. 鎖国ゲーム 14:43-[17] →成果2参照（派生図の例）

- ◇ もしも日本が鎖国した（物や情報の出入がなくなる、日本人は外国から帰国する、外国人は日本から出国するなど一切の外国とのつながりがなくなる）としたら、どのようなことが起きるか、その影響をグループで考える。各自のアイデアは模造紙の中央に「鎖国」と書いたまわりに、1人1本のマジックを持って書き出し、そこから派生して考えられるアイデアを付け足しながら、鎖国した場合の影響を表した「派生図」を完成させる（5分間）。
- ◇ 完成した派生図の模造紙（成果物）を回し読みし、他のグループのアイデアを共有する。その際、「なるほど！」と思ったアイデアに☆印を付ける。



7. グローバル化した世界の人類共通の課題 15:00-[9] →成果3参照（人類共通の課題のリスト）

- ◇ 現在世界が抱えている人類共通の課題として思いつくものは何かを各自イメージし、ポップコーン方式（全体で自由に意見を発表する）で共有する。

- 休憩 - 15:09-[13]

● セッション2「わたし・あなた・みんな②」 6/16 15:22-17:13

1. グループ替え、一言自己紹介 15:22-[8]

- ◇ グループ替えを行った後、新たなメンバーで「こう見えて〇〇な誰々です」で自己紹介を行う。

2. データで見るわたしと世界のつながり 15:30-[35] →成果4参照（資料からわかったこと）

- ◇ グループに配られた6種類の日本と世界とのつながりに関する資料のうち、1人1種類を選び、3つの視点（①データの種類・内容、②データからわかったこと、③最も印象に残ったこと）でデータを読み解く（5分間）。
- ◇ 自分が選んだ資料の読み解いた結果をグループで、紹介し合う（1人2～3分間）。
- ◇ 資料を読み解いた全員の結果を聞いて、わかったこと、いえることをグループで3～5つの文章にまとめる。
- ◇ データの出典資料についてファシリテーターが紹介する。

3. データで見るグローバルイシュー 16:05-[28]

- ◇ 1人1冊配られた『国際理解教育実践資料集』の中で、グローバルイシューに関する指定された6箇所のうちグループで分担して各自1箇所ずつを読み、ポイントは何かを3つにまとめる（7分間）。
- ◇ 各自が担当したグローバルイシューのポイントをグループで紹介し合う（1人2分間）。
- ◇ 国際理解教育は知識ではなく行動できる力を身につける教育であり、参加型は行動する力を育む実践の場を提供していることをファシリテーターが解説する。

4. わたしをふりかえる・社会をふりかえる 16:33-[22]

- ◇ 3つのこと（①わたしが自分の人生で大切にしていること／大切だと思っていること（3つ）②わたしやあなたやみんなが生きるこの社会にとって大切だと思うこと（3つ）③わたしが今生きているこの社会で誇りに思うこと／残念に思うこと（1つずつ）を各自考え、A4用紙に書く。
- ◇ カクテルパーティー方式（会場を立ち歩き出会った人とペアになり話す）で、できるだけ多くの人と上記書いたことを紹介し合う（6分間）。



5. 1日目のふりかえり 16:55-[10]

- ◇ 今日わたしが学んだこと、わかったことを各自3つ考えA4用紙に書く。
- ◇ 国際理解教育が育もうとしている3つの力（わたし、あなた、みんな）についてファシリテーターが解説する。
- ◇ 今日わたしが学んだこと、わかったことをグループで紹介し合う。

6. 事務連絡 17:05-[8]

◇ アートマイル、Eメールでの連絡、懇親会について連絡する。

★ 17:13 終了

● セッション3 「未来のビジョンと教育」 6/17 10:02-12:08

1. JICA TIME 10:02-[22]

◇ JICA、JICA中部開発教育支援メニュー、なごや地球ひろばについて、パンフレット、スライド、DVDを使ってJICA職員が紹介する。また、なごや地球ひろばの特別見学プログラムについて説明する。

2. 顔のウォーミングアップ 10:24-[3]

◇ ファシリテーターが指示する感情（例：楽しい顔）を顔で表現する。「非言語コミュニケーションも大事」

3. アイスブレイキング：仲間さがし・仲間こわし 10:27-[10]

◇ ファシリテーターが出す質問に対して、会場を立ち歩き同じ回答の人を探してグループ（仲間）になる。その後、仲間の種類を確認したり理由を聞いたりする。
（質問内容…①春夏秋冬で一番好きな季節 ②居住活動している県 ③所属団体区分 ④多様な人が入る5人グループ）



4. 1日目のふりかえりとグループ自己紹介 10:37-[11]

◇ レジュメにある第1回のねらいを読み上げ確認するとともに、1日目に行ったことをファシリテーターが説明する。
◇ 1日目の最後に考えた「今生きているこの社会で誇りに思うこと／残念に思うこと」をグループで紹介し合う（1人1分30秒）。

5. 地球の課題／日本の課題をデータで読み解く 10:48-[26] →成果5参照（資料を読んだ感想）

◇ 地球や日本に関する課題などを表した「地球の数字」「日本の数字」の資料を各自読む（7分間）。
◇ 資料を読んだ感想をグループで伝え合う（7分間）。その後3つのグループから感想を聞く。

6. このまま課題を放っておいたら？ 11:14-[14] →成果6参照（派生図の例、最悪の帰結）

◇ 先の資料で読んだ地球や日本の課題を解決せずに放っておいたら、どんなことにつながっていくのか、グループで派生的に考え模造紙に書き出す。
◇ 出されたアイデアのうち最悪の帰結だと思えるものにドクロマークを各自付ける。自分にも影響が及ぶと思えるものに星印を付ける。
◇ ギャラリー方式で他のグループのアイデアを共有する。自分のグループにないアイデアを持ち帰り、自分のグループのメンバーに伝える。



7. ESD（持続発展教育）ってなに？ 11:28-[8]

◇ 「ESD」の定義・解説、背景と歴史、「育てたい価値観／能力」などについて資料をもとにファシリテーターが説明する。

8. 理想の未来のビジョンの要素出し 11:36-[18] →成果7参照（ブレインストーミングの例）

◇ 私たちが望む「理想の未来」はどんな社会であるか、どんなことが実現されている社会なのか、それらの要素をグループでブレインストーミングにより模造紙に書き出す。
◇ ブレインストーミング（脳みその嵐）のルールの説明…①質よりも量 ②否定は禁止 ③結合と発展 ④斬新なアイデア歓迎 ⑤みんなは応援団。
◇ ギャラリー方式で他のグループのアイデアを共有する。自分のグループにないアイデアを持ち帰り、自分のグループのメンバーに伝える。

9. 私たちが望む理想の未来のビジョン7カ条！ 11:54-[40] →成果8参照（7カ条）

◇ ブレインストーミングで出てきたアイデアをもとに、私たちが望む持続可能な未来のビジョンを7つにまとめるための話し合いをグループで行い、模造紙に7カ条の文章を書く。7カ条は具体的にわかるもので、否定的な表現は使わないようにする。

- 休憩 - 12:08-[63]

- ◇ 各グループが全体で7カ条を読み上げる。
- ◇ ファシリテーターが展開例を説明する。例1：「私たちだけでなく、途上国の人、子どもなどあらゆる人にとって望まれる共通のビジョンを考え付け加える。」例2：「各グループの7カ条を合わせたうえで優先順位を付けるために10シーズという方法で決める。」

● セッション4 「よりよい変化のための価値観を育て行動変容を支える参加型！」 6/17 13:37-15:23

1. グループ替えと一言自己紹介 13:37-[11]

- ◇ グループ替えをし、「自分を料理に例えると」で自己紹介する。

2. セッション4のねらいの説明 13:48-[7]

- ◇ 国際理解教育のキャッチフレーズには、「気づきを行動に」「知り・考え・気づき・動くをつなぐ」「価値観の教育」「地球の視点で考え地域で行動する」「1人の100歩より100人の1歩」といったものがある。セッション4ではファシリテーターの経験も伝えながら「価値観の教育」という視点で国際理解教育を考え、アクティビティを行うことを説明する。

3. 死刑制度についての賛否ロールプレイ 13:55-[22] →成果9参照（賛成派・反対派の大切にしていること）

- ◇ 死刑制度についての賛成の立場・反対の立場のどちらかの資料を各自読む。
- ◇ 自分が読んだ資料の立場（賛否）になりきってグループで死刑制度のあり方について話し合う。
- ◇ グループの中の賛否資料の内訳を挙手により確認する（結果…5人グループのうち賛成反対の比率は1：4、2：3、3：2、4：1と多様な構成比となる）。
- ◇ 死刑賛成派と反対派がそれぞれ何を大切にしているのかをグループで考え、A4用紙に書き出す。付け足す方式で全体で発表する。

4. 賛否の二項対立ではなくどんな社会を望むのか 14:17-[10] →成果10参照（望む社会の例）

- ◇ 死刑制度の賛否に関係なく私たちはどんな社会がよい思うのかについて、グループで話し合い合意を得る。
- ◇ 全体で望む社会についていくつかのグループが発表する。
- ◇ この活動の趣旨「賛成・反対の立場だと平行線となりがちだけれど、二項対立を越えそもそもどんな社会がよいのか、その社会を実現するためにどうしたらよいかを考えることで、共通の行動につなげることができることがある。」についてファシリテーターが説明する。

5. 持続可能な未来のために育てたい価値観 14:27-[22] →成果11参照（育てたい価値観）

- ◇ どんな価値観を育てていくことが持続可能な未来、課題が解決される社会になるのか、グループで話し合い模造紙に書く。
- ◇ 前のグループが発表したことは言わない方式で、全体で各グループが発表する。



6. 価値観を育て合う上で役立つもの／阻むもの 14:49-[11]

→成果12参照（役立つもの／阻むもの）

- ◇ より良い未来につながる価値観を育て合っていく上で役立つこと／阻むものを各自考え、A4用紙に書き出す（3～5分間）。

7. 全体ふりかえり 15:00-[13]

- ◇ ふりかえりシート（第1回研修を通してわたしが①気づいたこと・発見したこと②大切だと思ったこと③これから実行しようと思ったこと）を各自記入する。
- ◇ 価値観を育て合う上で役立つもの2つ、阻むもの2つ、第1回を通しての感想をグループで紹介し合う。

8. 事務連絡 15:13-[10]

- ◇ 連絡事項（メーリングリストの開設、次回からの懇親会幹事、有料宿泊希望者、選考後説明会の開催時間）を事務局が伝える。
- ◇ 各県市で行うイベントを各県市推進員が紹介する。

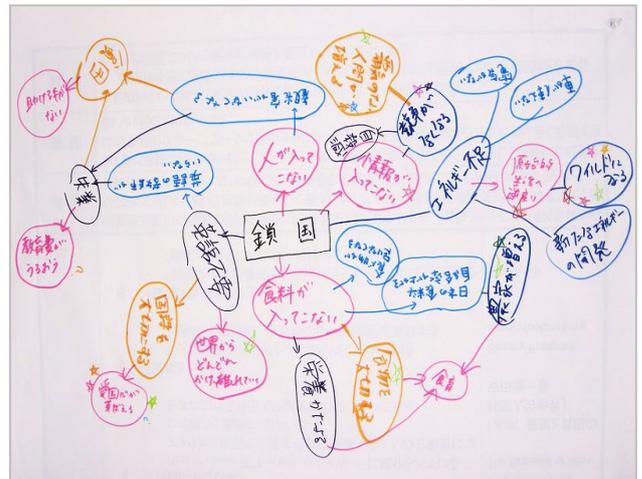
★ 15:23 終了

■ 主な成果

● 成果1：教室の中の世界探検「世界とつながりのあるもの」

- ◇ 最も多く出したグループのアイデア…服、パソコン、空気、時間、机、電気、マジック、プラスチック、紙、国旗、JICA、時計、水、太陽、筆箱、アクセサリ、イヤリング、靴下、人、考え方、言葉、ヨガ、スポーツ、映画、音楽、スクリーン、文字、教師海外研修、下着
- ◇ その他のグループのそれ以外のアイデア…手帳、食べもの、気持ち、靴、非常口マーク、協力隊、親類が海外在住、英語表記、ユーラシアプレート、キャラクター、ハンカチ小物、海外渡航経験

● 成果2：もしも日本が鎖国をしたら…どんな影響があるか？ 派生図（例）



● 成果3：グローバル化した世界の人類共通の課題として思いついたもの

気候変動、教育の格差化、伝統がなくなる、エネルギー問題、戦争、大企業中心社会、貧困、民族領土問題、原発問題、マネーゲームによる経済不安、自然破壊、少子化、差別、移民問題、児童労働、医療不足、感染症、女性の権利侵害、大量生産による問題、人口の増加、水不足

● 成果4：わたしと世界のつながりに関する資料をグループで読み解いてわかったこと、言えること

- ◇日本は、人、物、輸入に頼っている。
- ◇日本は世界とのつながりが強くなっているが、島国なのでまわりが見えていないのではないかな。
- ◇食べものだけでなく生活すべてに外国の恩恵がある。
- ◇食べものの中でも「伝統的な食」においても外国に頼るようになっている。
- ◇世界中にあるものが先進国に集まってきている。
- ◇物が違って起きている問題の根源は同じであり、その問題は次につながってしまっている。
- ◇日本には使える資源があるのにそれに気づいていない。
- ◇世界にはいろいろと問題はあるが、解決策が全くないわけではなく、海外から学ぶこともあるし日本がめざすべきことがある。
- ◇日本は水やエネルギーの無駄が多い。

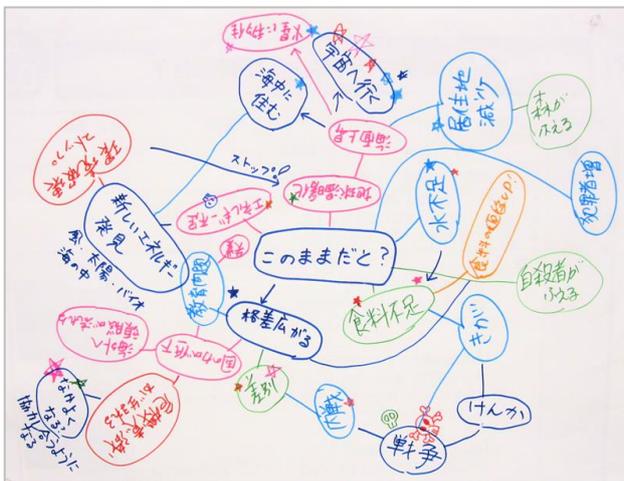
● **成果5**：資料「地球の数字」「日本の数字」を読んだ感想

◇日本は必ずしも豊かではなく、20歳以下の相対的貧困率が高いことが印象的だった。小学校で給食費が払えないという事例も話された。世界では人口の40%が200円以下の生活をしていて、その金額でどれだけの生活ができるか想像ができなかった。環境破壊で魚が減少していることも気になった。全体を通して貧しい人は貧しいままという負の連鎖をなんとかできればと思った。

◇農林水産自給率のデータでは農業従事者2/100人で高齢化している。また、20歳以下の相対的貧困率がアメリカに次いで低くそれが自殺にもつながっている。日本は就学率が高いのに、社会としてはアンバランスになっている。

◇地球の数字で深刻なデータが列記されると、実感がわかず受け入れがたくなる資料に思えた。途上国で起きている問題なので先進国がなんとかしなくてはいけない。日本は豊かな国であるが貧困の人も多いということにショックを受けた。

● **成果6**：このまま課題を放っておいたら？ 派生図（例）



◇最悪の帰結（ドクロマークの付いたアイデア）… 人類滅亡、戦争、自殺が増える、人が死ぬ、貧しい人がさらに増える、食料危機、エネルギー不足、犯罪率UP、夢がなくなる、文化（日本食）がなくなる、ストレスが溜まる、教育受けられない、医療費が払えない、労働人口の減少、害虫が増える

● **成果7**：持続可能な未来のビジョンの要素だし ブレインストーミング（例）



● **成果8**：私たちが望む持続可能な未来のビジョン（7カ条）

<グループ1>

- ① 田舎に若者が増え、農業する人も増え、自給率UP
- ② クリーンエネルギー100%になり、温暖化は止まり資源の奪い合いも減り、平和になる
- ③ 医師増え、乳児死亡率0→若者増え→年金もらえる
- ④ ワーキングシェアすることで失業率や残業が減り、みんな仕事ができる
- ⑤ 経済的な理由に関係なく、平等に進学でき、平等で教育が受けられる
- ⑥ 安心、ゆとりのある生活で、みんなが笑顔になる
- ⑦ 世界の様々な文化が尊重し合える

<グループ2>

- ① 生きてるよるこび実感社会
- ② レッドブルなんていないぜ社会
- ③ 明日も仕事楽しみだ社会
- ④ 誰でもウェルカム社会
- ⑤ 世界のみんなとこんにちは社会
- ⑥ 自然と人類フュージョン社会
- ⑦ 「ドラえもん！」

<グループ3>

- ① 環境を大切にできる社会
- ② おいしいものがたくさん食べられる社会
- ③ 自由に自分の意見が言える社会
- ④ いろいろな国に自由に行き来できる社会
- ⑤ 人類みな兄弟と思える社会
- ⑥ 多様な生き方が認められる社会
- ⑦ 幸せな死が迎えられる社会

<グループ4>

- ① 自然と生き物があふれる社会
- ② すべての人が安全で十分な水と食事を得られる社会
- ③ 世界中の人の心がつながる社会
- ④ 健康！長生き！子たくさん！若者パワーがあふれる社会
- ⑤ 精神的に豊かでゆとりのある社会
- ⑥ 子どもが夢に向かって進んでいける社会
- ⑦ 国と国が協力してつながり、助けあう社会

<グループ5>

- ① ワークシェアリングにより全員正社員になり、時間に余裕が生まれ家族や社会が心豊かに暮らせる社会
- ② 美しい自然を残すために完全なるクリーンエネルギーを取り入れる
- ③ 住みやすい場所に住むことができる
- ④ 高校・大学無償化により教育の機会均等が生まれる
- ⑤ お互いを思いやることにより、皆が住みやすい社会
- ⑥ 医療の進歩により寿命が延び、幸せな老後が過ごせる
- ⑦ どこでもドア（科学技術の進歩による）

<グループ6>

- ① 笑顔のたえない子どもが多い家族が増える
- ② おいしい食べ物、おいしい飲み物が味わえる
- ③ 空、水、森、海がきれいな世界
- ④ 誰もが自由な選択ができる社会
- ⑤ 安心、安全、平和な世界
- ⑥ 一人でもみんなでも自由につかえる時間がある世界
- ⑦ 子どもも大人もすべての人が楽しく遊べる世界

<グループ7>

- ① 家族 社会がひとつの大家族！
- ② 自然 世界中にトトロ出現！
- ③ 食 原始人になれ！
- ④ 海外 NOパスポート！
- ⑤ 心 ちっちゃいことは気にするな！
- ⑥ 自由 みんなちがってみんないい！
- ⑦ 価値観 お金中心から、人・自然に！

<グループ8>

- ① ユーモアがあってみんな仲良し
- ② 今までにない価値観
- ③ ゴミから新しい資源が生まれる
- ④ 宇宙船地球号
- ⑤ みんながやりがいのある人生をおくることができる
- ⑥ 自然がいっぱい
- ⑦ 健康で長生き、子どもいっぱい

● **成果9**：賛成派・反対派の大切にしていること

- ◇ 賛成派が大切にしていること…被害者側の人権、国の秩序や安全、死んで償う、個人が悪い（個人の問題）、再犯防止、残された遺族の感情
- ◇ 反対派が大切にしていること…加害者側の命や人権、一人の人間としての命、死刑制度禁止の世界的流れ、生きて償う、社会が悪い（社会的問題）、死刑執行人の苦悩

● **成果10**：死刑賛成・反対の二項対立ではなく望む社会の姿

- ◇ 犯罪を生み出さない社会＝教育や社会のシステムがしっかりして、格差が是正されているとよい。
- ◇ 犯罪した人が社会復帰しやすい社会だとよい。
- ◇ 子どもの頃から必要なもの愛情が与えられていて、それを社会で支えている社会だとよい。
- ◇ 多面的に物事を捉えられる社会だとよい。いろいろな人が立場を想像できるようになるとよい。
- ◇ 規則がなくても生きていける社会がよい。愛とコミュニケーションのある社会がよい。

● **成果11**：持続可能な未来のために育てたい価値観

- 多数決で決めない&常識にこだわらない→少数派の意見にも耳を傾ける
- 自分とは違う意見、自分との違い（外見など）を肯定的に受け容れる
- 全員が他者を大事にする（そうすることで自分も大切にされる） ● 他人事→自分事になる
- 多面的に物事を見て認め合う価値観 ● 物事の見えていない面を見ようとする（疑問を持つ）
- 「もっともっと」から「足を知る」へ ● 足を知る ● 今だけじゃない！7世代先でしょ！
- 自分を認める（他人に認められる）←→他人も認める（色々な人の立場に立てる）
→身の回りの環境も大切に→未来の人々のことも考えられる！
- 命が大切&自分が大切→みんなが大切（違いを認める・同じじゃなくていい）
- 負けてもいい…人間だもの ● 失敗も周りに認められる ● 羞恥開放
- 成果・結果だけでなく、その過程も認められ評価される ● 競争<共生
- 共感・共存・協力 ● 思いやり ● ゆずり合う社会 ● そこそこで満足
- 消費者と生産者がフェアにつながる価値観 ● 地球規模の視野 ● 地球人としての自覚
- 自然と共生 ● 地球生命皆尊重 ● 愛・平和
- Win・Winの関係←自分と自分を支える社会の関係が意識・実感できること
- 何が幸せなのかを考えながら生きる ● 生きてて幸せ！ ● すてき！イイネ！好き！楽しい！
- 自分を好きになる ● 自己肯定 ● 自分への誇り・自信、自己肯定感・自尊感情
- 感謝 ● 感謝・感激・感動 ● 未来志向 ● 前向きな視点 ● 立場や役割を理解できる
- 変えていこうとする気持ち・実行力 ● 実現・実行 ● 責任感

● **成果12-1**：より良い未来につながる価値観を育て合っていく上で、役立つこと

- 笑顔 ● プラスの声掛け、発言 ● プラス思考 ● 笑顔で「いいね」「なるほどね」 ● ユーモア
- 体験、経験 ● 様々な物に触れる ● 旅 ● 自然の中で遊ぶ、どろんこになって遊ぶ ● たくさんの緑
- 自己肯定感 ● 自分を好きになる ● 自分の文化に誇りをもつ ● 成功体験 ● 自信をつけられる場所
- 愛 ● 親からの愛情 ● 幸せな家庭 ● 家族でごはんを食べる ● 多くの目で子どもを育てること
- おじいちゃん、おばあちゃん ● 地域之力 ● 子どもを暖かい目で見守る ● 愛着をもてるもの
- 人と関わる、人と出会うこと ● 交流 ● 話し合い、対話 ● コミュニケーション ● 傾聴 ● あいさつ
- 伝えること ● 聞く力 ● わたしメッセージ ● 人の意見をしっかり受け止め自己の考え方を持つ

- 他者を愛すること ● 思いやり ● 相手の立場にたって考える ● 見えない他者を思えること
- 他人は自分とは違うことを認める ● 相手を好きになる ● やさしさ ● お互い様 ● 道德教育
- 個人を重んじる教育、価値観、評価 ● 相対評価→絶対評価 ● 一番がない
- 沢山の選択のある正しい教育 ● プロセスをほめる教育 ● ほめる ● 情報 ● 情報を選ぶ力
- 色々な情報を提供、JICA の情報 ● マスコミ・メディアの影響 ● 多様な価値観
- マイノリティの為に施設・商品ができる（ノーマライゼーション） ● 少数の意見
- いろんな人がテレビに出ている（マイノリティ、おねえ・ハーフ） ● 他者を理解する機会
- いろいろな人の生き方を知る ● 自己研鑽すること ● まず自分が価値観を広げる
- 世界へ目を向けること ● 生産者の立場を想像できる想像力、知識 ● 地球は一つと意識する
- 知識 ● 勉強 ● 外国語習得 ● 他国、異文化の理解 ● 「無知の知」 ● 現状を知る ● 友達 ● 仲間
- みんなで何かを作って達成感をもつ ● 集団での時間 ● ネットワーク ● SNS
- 目標に向かって共に歩んでくれる仲間 ● ポジティブな人の輪 ● たくさんの人とすぐにつながる世の中
- 行動する ● 活躍の場がたくさんあること ● 自分の殻に閉じこもらない ● 挑戦する気持ち
- ゆとり（心、時間） ● 考える時間 ● ある程度のお金 ● 安心感、心の充足感 ● 健康
- 周りをみて学べる環境がある ● 便利すぎない ● 明日もたのしい、未来に対する希望
- 共生、平等 ● お酒 ● 参加型ワークショップ イベント ● フェアトレードな買い物
- 足るを知る、分かち合う ● ルールを守る意識が美德という考えがある ● 結婚、出産、子育て、家族
- 物を大切にする、リサイクル ● ごはんを残さず食べる ● たくさん考える→何が幸せなのか！？
- 疑問視 ● 失敗から学ぶ

● 成果12-2：より良い未来につながる価値観を育て合っていく上で、阻むもの

- 機械的なゲーム ● 電子機器に心が支配されること ● ケータイ ● アイドル ● 言葉の違い
- 宗教の違い ● 国の違い ● 島国 ● 画一教育 ● 成績、業績などによる一面的評価
- 一方的な教育 ● 受験 ● 一番がある ● 競争 ● 結果へのこだわり ● 勝ち＝良しという環境
- 成果主義 ● スポーツはwin-winでは盛り上がらない ● マスメディアの世論操作 ● 物の多さ
- 正しくない情報 ● 少ない情報 ● 偏った情報 ● 制度法律 ● 格差社会 ● 貧困 ● 利益追求の流れ
- 教育にかかる費用の格差 ● お金 ● マネーゲーム ● お金至上主義 ● 市場経済 ● 低コスト主義
- 質より量の考え方何でも与えられる、お金で欲求が満たされてしまう ● お金を自己のために使う
- 無知 ● 知ろうとしないこと ● 無関心 ● ものの後ろに存在する人を考えられない無関心
- 思い込み ● 植えつけられた考え方・標示 ● 固定観念 ● 「〇〇でなくてははいけない」 ● 先入観
- 頑固さ ● 差別 ● 偏見 ● 常識 ● 昔からのしきたり ● 自分の考えを他人におしつける
- マイナスな発言、言葉 ● マイナス思考 ● 否定する、批判する ● 相手を責める ● 「どうせ」「ダメ」
- 多忙 ● 余裕がない ● 自己中心的考え ● 自分本位の心 ● 個人主義 ● 独善的な行動
- 終わりのない満足感 ● 飢餓感 ● 欲 ● エゴ ● 今さえよければ ● 見て見ぬふり ● あきらめ
- 手放したくない気持ち、変わりたくない気持ち ● ひとりより優れたという感情
- 自分の考えていることが他人に分かってもらえていないと思う ● 人と同じがいいという感情
- 人に流される弱い気持ち ● 内向き志向 ● プライド ● ねたみ ● 恥ずかしがる気持ち ● 警戒心
- フラストレーション ● コンプレックス ● 引きこもり ● 孤独 ● つながりの希薄さ
- 少子化・一人っ子・核家族 ● コミュニケーション不足 ● 教えようとしないうこと、伝えようとしないうこと
- 上下関係、人間関係 ● たくさんの価値観を身近に受け入れている大人が少ないこと
- 感動するなど自分の気持ちを出すとしらけた目で見える人がいること
- 小さい時の失敗を先につんでしまう ● 国家間の競争 ● 食べ散らかす ● 過剰な干渉 ● 治安の悪化
- 「がんばれ」「負けるな」 ● 都市化 ● 出る杭をたたく ● 頭でっかち ● 無駄に怒ること